

## BOOK REVIEW

## 薬剤師のための ゼロからわかる救急・急変対応

編：徳洲会救急薬剤師研究会

救急外来業務を既に実施している、またはこれから関わりたいと思っている、あるいは病棟での急変に対応できるようになりたいと感じている方々は、書名の「薬剤師のためのゼロからわかる救急・急変対応」に興味を惹かれたのではないだろうか。

筆者も表紙から内容を想像してワクワクしながら読み始めたが、本書はいわゆる知識教授型の書籍ではなく、著者陣の経験や薬剤師としての思考がしっかりと入り、症例提示を踏まえて日々の業務にすぐにも取り入れられる内容で構成された実践本であった。サブタイトルに“救急外来薬剤師のやさしい入門書”とあるが、初学者にもわかりやすく、またエキスパートにも読み応えのある内容であり、バランスの取れた秀逸な書籍である。

筆者自身も救急医療に従事して15年が経つが、救急や急性期医療に精通した徳洲会救急薬剤師研究会のメンバーの経験が豊富に盛り込まれた本書は、とても勉強になった。また、当時ドキドキしながら飛び込んだ救急外来業務を思い出し、本書がもし手元にあればどれだけ心強かったかと回想してしまった。

全体の内容は、第1～5章では患者への薬剤師的アプローチ、さまざまなケーススタディ、緊急病態の薬物療法に関して記載されており、ここまで読めば、ほぼ場違いなく救急外来や急変対応への一歩が踏み出せると思われる。さらに本書の素晴らしいところは、第6～8章でER・救急・災害医療における薬剤師業務の実



A5判／280頁

定価：4,070円（本体3,700円＋税10％）

発行：じほう（2023年7月）

際や、著者陣の経験や思いをギュッとまとめたクロストークを読むことにより、知識だけでなく気持ちの面でも背中を押してくれる構成となっている。本書を読んだ薬剤師が救急患者や急変患者に関わり、多くの命を救う一助になることを切に願っている。

日本大学医学部附属板橋病院薬剤部 今井 徹

(文：じほう提供)